



らいおんぐみだより



尚徳福祉会 坂戸保育園

3月

昼夜の寒暖差はありますが、お昼のポカポカな陽気が春を感じさせてくれます。卒園式まであと数日…。残りの保育園生活のカウントダウンが始まり寂しい気持ちもありますが小学校への期待を持ちながら過ごしています。これまでと変わらず1日1日を大切に楽しい日々を過ごしていきたいと思います。



ひな人形

顔や洋服の丸を使う部分にはおもちゃのカップやペーを用いて丸をなぞり切りました。帽子などは子ども達が見本を見て真似し描いていきました。「難しいよ」という子もいましたが、一つずつ自分の力で作っていき姿がありました。

自分のひな人形ができあがると子ども達から「先生！友だちに作り方教えたいよ」と声がかかりました。友だちが分からない所があると「これはね……」と隣で優しく教えてくれる小さな先生がたくさんいました。



そつえんしきに向けて

卒園式で歌う曲「ずっと一緒」を子ども達に初めて聞いてもらった時「涙がでちゃう」

「いい曲だね」と言ってくれました。その後は、ピアノを弾き始めると隣に来て歌う子ども達。

2月に入ってから証書、座り方、歩き方など卒園式に向けて子ども達と練習を重ねていくと子ども達から「証書の練習がしたい！」

「歌を歌いたいよ」と言う子が増えてきました。

楽しみながらも真剣に取り組む事ができる

らいおん組です。



らいおんぐみのみんなへ

あともうすこしでしょうがくせいですね。いちねんかんすぎるのがあつというまでしたね。ことしはいつもとちがううんどうかい、はっぴようかいになりましたが、たくさんたけうまのれんしゅうをしたり、「たいこ」をしたりみんなのすがたはかっこよかったです。はっぴようかいで、げき「ぽっぴとたっぴのだいぼうけん」では、せりふをともだちとよんだり、ともだちのせりふまでおぼえておしえてくれるこもいたね。らいおんぐみになってたくさんのお話ができるようになってたくさんがんばることができたね。しょうがっこうへいってもべんきょうやおともだちをたくさんつくってたのしいおもいでをつくって行ってね。



らいおん組の成長

《食事・生活》

給食の時間は小学校に向けて20分ぐらいで食べられるように声掛けをしています。初めの頃は30分以上かかってしまう子どもが多かったですが、おしゃべりを楽しみながらもみんなが食べられるようになってきました。今年度は感染症対策として給食当番を控えました。9月頃までは保育者が配っていましたが、少しずつ子ども達に自分の給食を運んでもらうように変えていきました。自分で食べる量も保育者に伝えることができるようになり、また完食できる子が増えてきました。おかわりをしてもまだ食べられる勢いです。食器の片付け方ではお皿が多く重ならないように3つまでと伝えると子ども達で気が付き友だちに声を掛ける姿もありました。

《遊び》

今年のらいおん組は男の子も女の子もよく一緒に遊ぶ姿がありました。園庭ではサッカー、鬼ごっこ、ドッチボールをしていると「仲間に入れて!」と一人から始まった遊びもみんな楽しんで遊ぶ姿があります。

ラキューが大好きならいおん組。積み木やカプラを使い物語を考えていたり、魚を作ると「水族館だよ!」と楽しむ姿がありました。最近では高度な物にも挑戦する子があり、武士を作ったり、きりんの首を変形させてすべり台にしたりと想像力豊かな子ども達です。

今年の子はあるアニメが大ブームで曲が流れるとみんなで歌っていたり、ラキューなどでそのキャラクターの模様を作ったりする姿もありました。



就学に向けて



《着脱について》

小学校では、机での生活が基本になります。着替えや靴、上履きの着脱時には立って着脱できるよう働きかけをしています。

《給食》

小学校では食べる時間は20分程度です。

らいおん組では30分ぐらいで食べ終われるように声掛けをしていました。4月頃に比べ、今ではおかわりも含めて楽しく食べながらも20分ぐらいで食べられるようになってきています。

《時間》

時間や次の行動を意識して見通しを持って活動ができるようになりました。給食の時間や片付けの時間など「時計の長い針が8(40分)になったら片付けだよ」と伝えても遊ぶ子もいましたが、今では子どもたちから「40分で片付けをするよね」と気が付き時間を見ながら行動する姿もあります。